

第5回 グローバル人材育成事業 in ケアンズ

8月8日(木)から17日(土)まで日和佐・由岐中学校の生徒8名がグローバル人材育成事業に参加しました。グローバル人材育成事業は、姉妹都市であるオーストラリアケアンズ市のトリニティベイスティートハイスクールに通学し、一般家庭にホームステイするという事業です。



ケアンズを訪れて

日和佐中学校 ポデズワ和馬

ケアンズは活気のある街で、都会なのに、すぐ近くにキュランダの熱帯雨林とグレートバリアリーフという2つの世界遺産があつて素敵などころでした。さとうきび畑が延々と続いていて、土地の広さに驚きました。ここは大陸なのだと思えました。

街では車同士もよく譲り合ふし、歩行者優先が徹底されていて、よく車が止まってくれたのが良いと思えました。日本のようなペラペラのプラスチックの買い物袋はなく、全て有料で、みんなエコバックを使うようにしていました。環境を大切にしているところも良いと思いました。

ホストファミリーはとても優しく、特別扱いたくないので本当の家族のように接してくれたのが嬉しかったです。子



どもがよくお母さんのことを手伝っていて、食事前に食器を洗ったり、終わった後は積むのを手伝ったりしていました。僕も現地では家事をたくさん手伝いました。家でも積極的に家事を手伝おうと決めました。

学校もとても楽しかったです。科学の授業ではエネルギーについて学びました。動画を使った授業が面白かったです。

す。休み時間は解放感がありました。みんな優しく、僕たちをすぐ受け入れてくれたので心が温まりました。パティとその友達、下級生とも友達になれたので、英語が話せるっていいなと実感しました。固くなって緊張しなくてすむような温かい雰囲気を作ってくれたので、僕も転校生や先輩が緊張しているようだったら、ケアンズの生徒たちがしてくれたように積極的に声をかけようと思いました。

今回の体験を通して、いろいろな人の優しさを感じました。自分がしてもらって嬉しかったことから、自分が人に何をすれば喜んでくれるのがわかりました。そして、「助かるよ。ありがとう。」と人に言ってもらえるような行動をしたいし、もっと英語を頑張りたいと思うようになりました。

初めてのオーストラリア

日和佐中学校 井岡美咲

私は、グローバル人材育成事業に参加が決まった時に、いくつかの目標をたてました。一つ目は、英語をうまく使って、買い物をしたりすることです。